



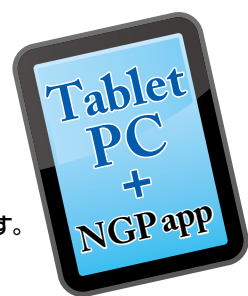
NEWS

2012 No.258

9月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

タブレットPC利用は時代の流れ、NGPも対応アプリを用意しました リユース部品のビジネス提案にお役立てください NGPエコひろばの登録事業者様は 誰でもご利用いただけます



今や携帯電話は「スマートフォン(スマホ)」が主流。携帯できる情報量の多さが魅力のひとつです。ビジネスや商談の現場ではスマホよりひと回り大きい「タブレットパソコン(PC)」の活用が広がっています。NGP協同組合も対応アプリを用意しました。リユース部品のビジネス提案にご活用ください。



タブレットPCの画面で見せて商談を円滑に

NGP協同組合が用意したものは、タブレットPCで利用するアプリケーションソフトです。ダウンロード専用URLをお配りいたしますので、サイトにつなげてダウンロードし、アンドロイドタイプのタブレットPCで利用することが可能です。あいおいニッセイ同和損害保険と共同開発しました。

アプリを通じて、リユース部品の生産過程を動画で見せたり、NGP協同組合が実施している品質保証制度を説明したり、NGPのリユース部品をわかりやすく説明することができ、お客様との商談がスムーズに行えます。

実際のところ一般のお客様は、リユース部品がどのように生産され、徹底した品質確認・管理が行われて整備工場の皆様のお手元に届いているかを知りません。一方で、私たちNGP協同組合員の工場を見学された一般のお客様は、一様に徹底した品質管理に驚き、

「機会があったら使ってみたい」という感想を述べてお帰りになります。

まさに百聞は一見にしかず。皆様の工場に来店されるお客様にタブレットPCを通じて私たちNGP協同組合のリユース部品生産現場を体験し、安心・納得してリユース部品を利用していただきたい。そうした思いを込めてタブレットPC用アプリを作製しました。

自動車の任意保険の料率体系が変わり、事故を起こすと翌年の保険料が大幅に引き上げられるようになります。この制度変更にもなると、自費で修理しようとするお客様が増えると予測されます。こうした際の商談にアプリをご活用いただきたいのです。リアルな説明に納得し、信頼できる品質のリユース部品を使った修理が可能になるので、皆様の工場に来店されるお客様の満足度を高めることは請け合いです。

タブレットPCは、自動車関連ビジネスのさまざまな分野で利用が広がっています。導入が進んでいるのは、中古車業界かもしれませんが、多様な車種の在庫情報などをタブレットPCで携帯し、お客様と相対して商談を進めることが可能だからです。見積もり作成もタブレットPCを使ってその場でできます。

自動車整備の現場でもこうした利用が始まろうとしています。少々時間はかかりますが、日本自動車整備振興会連合会(日整連)

はスキャンツールの利用促進と並行して整備情報提供サービス「FAINES」をタブレットPCで利用できるようにシステム改良を進めることを計画していると言われます。皆様の工場も時代の先端に足を踏み入れて、接客対応に努めてみてはいかがでしょうか。

NGP協同組合は、整備工場の皆様に一般のお客様との接点を広げてもらい、車検整備や車体整備の売上アップにつなげてほしいと考えています。整備工場の皆様の商談機会が増え、売上増となるのが、リユース部品の市場拡大に結びつくと考えからです。このため、2年前に始めた整備工場の皆様にお客様を紹介するインターネットサイト「NGPエコひろば」をさらに充実、登録のご協力をお願いすることになりました。

NGPエコひろばは整備工場の皆様にお客様を紹介するためのインターネットサイトです。リユース部品を使った車体整備のお客様以上に車検整備のお客様から問い合わせがあり、エコひろばへの登録は新規顧客の掘り起こしにつながります。

そしてNGPエコひろばに登録されたお客様を支援するために開発したのが、ご紹介したタブレットPC用アプリです。アプリを利用したいとお申しつけいただければ、ダウンロード専用URLをお渡しいたします。タブレットPCの利用環境が整っていればすぐに利用可能です。ぜひご利用ください。

NGP協同組合は高品質なリユース部品の提供とともに整備工場の皆様の新たなビジネス展開を支援いたします。

節約志向を反映し軽自動車普及がさらに進展

今年3月末現在で 100世帯当たり51.0台

節約志向を反映して軽自動車（＝軽四輪車、以下同）の普及が進んでいます。全国軽自動車協会連合会（全軽自協）による今年3月末時点のまとめでは、軽自動車の世帯当たり普及台数は、100世帯当たり51.0台となり、昨年の50.3台から0.7台普及が進みました。数字的にはわずかですが、成熟したクルマ社会を背景に考えると軽自動車への依存度がさらに高まったことを意味します。

軽自動車の普及台数は、総務省がまとめた「住民基本台帳世帯数」と国土交通省による「自動車保有車両数」をもとに全軽自協が算出し、毎年発表しています。今年3月末の全国の世帯数は5417万1475世帯で、前年同期に比べて0.72%、38万8040世帯増えました。これに対して全国の軽自動車保有台数は2760万7891台で、前年同期に比べ1.97%、53万4312台増となりました。世帯数の伸びを軽自動車保有の伸びが上回り、軽自動車の世帯当たり普及はさらに進みました。

ちなみに軽自動車1台当たりでみると、昨年3月末の普及状況は1.99世帯に1台という普及の割合でしたが、今年3月末は1.96世帯当たり1台の普及状況になります。

地域別の普及状況では、和歌山までの上位13県の順位に変動はありません。また100世帯当たり90台以上という高い普及県は鳥取、佐賀、島根、山形、長野、福井までの上位6県で、昨年と同数です。一方で、100世帯当たり80台以上の普及県は4県増の22県、同70台以上が2県増の33県となるなど、広い地域での軽自動車保有の拡大がみられます。

軽自動車普及が低いのは東京都の100世帯当たり11.1台で、次いで神奈川の同20.5台、大阪府の同26.2台となります。軽自動車最高普及県の鳥取県と最低の東京都の差は9倍近い開きとなります。

高齢社会が出現し、日本の自動車保有構造は大きく変化しています。日本自動車販売協会連合会（自販連）がまとめた今年度版の「自動車ディーラー・ビジョン（乗用車店編）」で、現在所有する自動車の保有年数が長くなることを見込む自動車ユーザーの比率が増加、さらに維持費の負担が重いので税制を軽減して欲しいと考えるユーザー比率も90%を超えました。維持費の点で「次回は軽」、こうした車両購入を検討するユーザー比率も増加し、回答の51%に達したそうです。軽自動車比率はさらに高まる傾向です。

軽自動車の100世帯当たり普及台数

順位	都道府県	保有台数	2012年3月末	2011年3月末
1	鳥取	226,216	99.0	98.0
2	佐賀	310,578	98.7	97.9
3	島根	271,274	97.3	96.4
4	山形	388,896	96.9	96.0
5	長野	799,374	96.9	95.8
6	福井	261,500	94.9	93.4
7	沖縄	517,365	89.4	88.4
8	新潟	761,058	88.5	87.7
9	山梨	300,599	88.4	87.4
10	宮崎	445,119	87.7	86.7
11	徳島	276,042	85.2	84.4
12	富山	333,118	84.6	83.6
13	和歌山	363,957	84.2	83.5
14	岩手	423,099	83.6	82.0
15	岡山	662,225	83.4	82.9
16	秋田	349,711	83.0	81.8
17	香川	339,373	81.4	80.6
18	鹿児島	643,474	81.2	80.0
19	福島	603,280	80.7	79.3
20	三重	586,719	80.6	79.0
21	高知	281,429	80.3	79.5
22	岐阜	608,003	80.3	79.5
23	熊本	591,731	79.5	78.7
24	群馬	615,224	79.0	78.0
25	大分	404,687	78.7	77.6
26	滋賀	405,576	77.2	76.7
27	長崎	463,836	75.2	74.4
28	愛媛	476,342	75.0	73.9
29	青森	423,368	73.3	72.1
30	山口	467,643	72.3	71.5
31	石川	320,281	70.9	70.0
32	静岡	1,033,926	70.6	69.6
33	茨城	804,064	70.4	69.0
34	栃木	523,580	68.3	67.1
35	宮城	560,583	61.0	59.3
36	広島	743,964	60.0	59.4
37	奈良	311,253	55.1	54.5
38	福岡	1,189,273	53.5	52.9
39	愛知	1,421,270	48.2	47.7
45	大阪	1,038,991	26.2	26.0
46	神奈川	818,288	20.5	20.2
47	東京	707,966	11.1	11.0
	全国計	27,607,891	51.0	50.3

「環境広場さっぽろ」にNGP北海道支部が参加

リサイクル部品の利用を啓蒙

7月27日から29日の3日間、札幌市白石区のアクセスサッポロ（札幌流通総合会館）で開かれた「環境広場さっぽろ2012」にNGP協同組合北海道支部（福田健志支部長）が参加し、ブース出展したあいおいニッセイ同和損保に協力してリサイクル部品の利用促進を訴えました。

環境広場さっぽろは東北以北で最大の環境イベントで、今回で15回目を数えます。今回の出展企業・団体は道内外から約70社。あいおいニッセイ同和損保もそのひとつで、リサイクル部品を啓蒙するため、NGP北海道支部が全面的に協力したものです。組合員は交代で炎天下の会場に張り付きリサイクル部品特約付き保険のPRに努めるとともに、使用済み自動車から集めたエンブレムを会場に持ち込み、アンケートにご協力

いただいたお客様に手渡しました。エンブレムの効果は大きく、約1000通のアンケートを集めることができました。「北海道では主婦の方でもリサイクル部品を知っている



あいおいニッセイ同和に協力、ブースを盛り上げる

人が多かった」と福田支部長は話しています。

こうした環境イベントで自動車関連は高い関心が寄せられる部門です。エコカーをはじめとしたさまざまな情報が発信される中で、リサイクル部品の利用促進を訴える「白くま環境教室」をあいおいニッセイ同和が実施しました。同時に、あいおいニッセイ同和と連携するNGPベルマーク運動の広報も努め、被災地学校に対する支援活動の継続を来場者に呼びかけました。



被災地支援のベルマーク運動の広報も並行して実施

ヤナセオートシステムズ、「メルセデス」用リビルト部品の販売開始

NGPのネットワークを通じて全国へ

NGP協同組合はヤナセオートシステムズとタイアップ、「メルセデス・ベンツ」の高品質リビルト部品を提供することになりました。メルセデス日本純正品と品質はまったく同じ、「ヤナセ」ブランドの製品です。オートマチックトランスミッション(AT)ユニット交換をはじめ、最高の顧客満足を提供したい「メルセデス」の修理に御用立てください。

NGP協同組合は「メルセデス・ベンツ」用リビルト部品の取り扱いを始めました。提供を受けるのはヤナセオートシステムズです。

同社はヤナセの100%子会社です。前身は「ウエスタン自動車」で、1965年からメルセデス・ベンツのリビルト部品製造を手がけ、全国のヤナセネットワークをはじめメルセデス・ベンツの指定サービス工場に純正リビルト部品を提供してきました。この経験と実績を踏まえて、純正リビルト部品と同じプロセスを経て整備されたリビルト製品が提供されるのです。

製品はオートマチックトランスミッション(AT)、オルターネーター、スターター、パワーステアリングギアボックス、パワーステアリングポンプ、ディファレンシャル、トランスファーケース、フューエルディストリビューター、フューエルポンプその他です。

提供される製品は価格、保証、納期などに合わせて3タイプ。メルセデス・ベンツの純正リビルト部品とまったく同じ品質の「メルセデス・ベンツ純正リビルトユニット」、そして「ヤナセオートシステムズオリジナルリビルトユニット」。さらにATについては「現物修理」に応じます。

純正リビルト部品は、メルセデス・ベンツの日本純正品とまったく同じものです。再生・修理に際して純正ユニットと同じ構成部品を使い、製造しています。オリジナルリビルトは、構成部品のコストを見直し、品質を落とさず再生・修理したユニットです。分解、洗浄、組み立て、検査の工程は純正リビルトもオリジナルリビルトも同一工程で行われ、熟練した技術で最高品質の製品が提供されます。

再生したユニットを在庫として用意してい



熟練した技術で安心を保証する組み付け作業



オリジナルを含めてATテストベンチは4基



在庫を保有し、即納体制を整える

ますので、純正リビルトは注文翌日に発送、オリジナルリビルトは注文受付当日または翌日発送で製品提供できます。品質保証は、純正リビルトが1年保証(走行距離無制限)、オリジナルリビルトは、1年または走行距離5万kmです。両リビルトの販売ともコア回収が前提ですが、整備事業者様にコアの発送を含む往復分の送料負担はありません。

さらに不具合箇所の修理だけを希望する場合には、現物修理が便利です。多少時間が

かかりますが、修理費用を抑えることができ、30年以上前のトランスミッションでも修理部品が手に入る限り再生することが可能です。修理箇所についてのお見積りを確認後に着工、保証は修理箇所に対して1年または走行2万kmまでとなります。

純正、オリジナルのリビルトと同時にバンパーや外販パネルの在庫の充実にも努めています。お近くのNGPメンバー店でご確認ください。

NGP今月のCO2削減量

リサイクル部品利用にともなう削減効果

※ NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO2の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。



NGP 平成24年7月: **6,863 t**

NGP 1月からの累計: **48,201 t** (全12団体 1月からの累計 **84,827 t**)

リターナブル梱包材利用にともなう削減効果

※ リターナブル梱包材の利用にともなう削減効果はNGP協同組合独自のCO2排出削減の取り組みです。ダンボールに変えて、専用梱包材を200回繰り返し使用することで削減効果を試算しました。



NGP 平成24年7月: **24.9 t**

NGP 1月からの累計: **158.7 t**

※リターナブル梱包材は、ドア・フェンダー用に加えて2011年2月よりバンパー用の運用を開始しました。

第22回中級研修会開催

リーダーになるため、ロープレで 部下指導方法を実践的にチェック

8月6～10日の日程で静岡県裾野市のあいおいニッセイ同和自動車研究所東富士センターで第22回中級研修会を実施しました。全国の組合員から34人が参加し、生産・フロント・営業の現場リーダーとしての心構えを学ぶとともに、技術知識に磨きをかけました。

とくにリーダーの心構えを高めるロールプレイングは参加者にとって印象深く、「頭でわかっている、言葉にすること、相手に上手に伝えることがいかに難しいかを痛感しました」(アンドカーパーツ、鈴木康久さ

ん)、「研修で学んだことを活かすことができれば、従業員の気持ち、考えを動かし、よりよい会社に変えて行くことができると思います」(3R、山口智也さん)と話していました。

「生産・フロント・営業、全社が一体となり絶えず情報交換をし、よりよい商品をお客様に提供できるよう努力します」(エコブリッジ、高

橋洋介さん)、「実技の内容をもっと勉強し、お客様に部品の状態を正確に伝え、納得して買ってもらえるようになります」(大友自動車工業、大友正人さん)、「部下がより高い業務、より困難な業務に自ら望んで取り組む環境を作り、部下の能力を最大限に引き出してやるリーダーになります」(ユーパーツ名古屋店、吉田誠さん)とリーダーとして踏み込んだ決意を表明しています。



部下育成の効果的指導法を探るロープレ



技術の知識を厳しい試験で確認

第21回初級営業マン研修会を実施

現場で通用する営業マンをめざして 参加者各自が思いめぐらす

第21回初級営業マン研修会が7月27～29日の3日間、東京・夢の島のBumB東京スポーツ文化館で開催されました。参加者は17名。挨拶の訓練・試験、名刺の交換、敬語の使い方などの基本マナーを学ぶとともに、ロールプレイングを通じてお客様への接し方を考えながら営業マンとしての独り立ちをめざした研修に取り組みました。

長谷川利彦理事長も研修会に顔を出し、営業マンの力がNGP協同組合の力に直結することを訴えました。

リ・パーツ坂井自動車の武石勤さんは研修会を振り返り、「長い間に身についたことをやり直すことは難しいと思うが、我流で取り組んできたことを改善し、正しい方法で仕事に取り組みたい」と意欲的です。ワープの永川博之さんは、「実践的なロープレは新規のお客様を訪問したときを想定したもので、まさに普段目のあたりしている状況ばかり。お客様の心理を深く勉強することができ、明日から使えることばかりだった」と感心しています。


「次世代の整備業界にマッチした営業マン

になる。タブレット端末、PCソフトを使い、常に新しく、面白い提案のできる営業マンになります」(エコブリッジ、高橋洋介さん)。「ただ訪問するだけでなく、ひとつでもいいので会話をしているりと相談してもらえる営業マンになります」(東和、磯江勝さん)と決意を表明。営業マンとして視野を広げた研修会になりました。



長谷川理事長が講和で参加者を激励

新規入会組合員紹介

支部	会社名	NGP代表者	住所	電話番号	FAX番号	加入日
北海道支部	株式会社ライズコーポレーション	専務取締役 山口一幸	北海道札幌市厚別区厚別町山本1066番地384	011-802-2121	011-802-2127	24年8月31日
コメント	 <p>このたびNGP日本自動車リサイクル事業協同組合の正組合員となりましたライズコーポレーションです。弊社は現在スタッフ18名で自動車リサイクル事業に取り組んでいます。基本理念は「お客様の満足な笑顔を喜びとします」です。入会を期にさらにお客様に喜んでいただけるよう努力してまいります。また現在8000点の在庫を1万1000点まで引き上げることをめざします。NGPの仲間として品質を向上させ共に発展していきたいと思っておりますので、末永くご指導いただきますようよろしくお願いいたします。</p>					

訃報

7月31日、エコテクノ(広島県北広島町)砂原正則代表取締役の夫人、砂原悦子(すなはら・えつこ)様のご逝去されました。享年70歳。

8月10日、太田部品(静岡県御殿場市)太田広社長のご母堂、太田梅子(おた・うめこ)様のご逝去されました。享年98歳。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp